

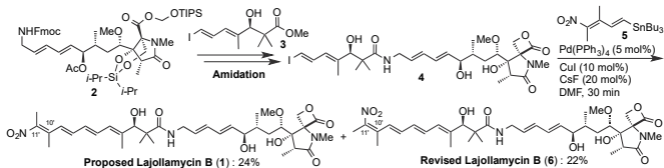
21L-am09

ラジヨラマイシン B の全合成と構造訂正

西丸 達也¹, 江藤 康平¹, ○小嶺 敬太¹, 畑山 範², 石原 淳¹ (¹長崎大院医歯薬, ²長崎大先端創薬イノベーションセンター)

【目的】ラジヨラマイシン類天然物はスピロ-β-ラクトン-γ-ラクタムを含むジエナミド骨格と特異なニトロ基を含むテトラエン構造を有する海産天然物である¹⁾。我々は、独自の方法に基づく本天然物の一般的合成法の確立を目的とし、その合成研究を行っている。今回、ラジヨラマイシン B (**1**)の合成を達成し、その提唱構造に誤りがあることを見出したので報告する。

【結果】当研究室にて確立した方法で²⁾と³⁾を合成後、アミド化等を経て**4**を得た。一方、2-プロピン-1-オールから数工程を経て**5**を合成し、**4**との Stille カップリングを試みた。その結果、反応は C10'-C11'の異性化を伴い進行し、**1**と**6**が得られた。これらと天然物の NMR スペクトルデータの比較により、ラジヨラマイシン B は当初提唱された構造の E 体**1**ではなく、Z 体**6**であると結論できた。



1) D.-C. Oh *et al.*, *J. Nat. Prod.* **2014**, *77*, 2099; 2) J. Ishihara, S. Hatakeyama *et al.*, *Org. Lett.* **2011**, *13*, 5398; 3) J. Ishihara, S. Hatakeyama *et al.*, *Org. Biomol. Chem.* **2012**, *10*, 8164.